

品名	Switch－M24DCPWR	商品仕様書	401－23249D－SP01
品番	PN23249D		全9 No.1
1. 定格・環境条件			
1－1. 定格入力電圧	DC－53V～－43V（DC43～53V）、 6.0A		
1－2. 消費電力	定常時最大224W（非給電時24W）、最小17W		
1－3. 動作環境	動作温度範囲 0～40℃ 動作湿度範囲 20～80％RH（結露なきこと）		
1－4. 保管環境	保管温度範囲 -20～70℃ 保管湿度範囲 10～90％RH（結露なきこと）		
1－5. 適合規制	電磁放射 VCCI クラスA		
1－6. 耐性	静電気放電（ESD） : IEC61000-4-2（10KV） 放射電磁妨害 : IEC61000-4-3 Level2 電氣的ファストトランジェントバースト : IEC61000-4-4 Level3 電氣的サージ : IEC61000-4-5 Level3 耐伝導ノイズ性 : IEC61000-4-6 Level2 電源周波数イミュニティ : IEC61000-4-8 Level4 瞬停ノ電圧変動 : IEC61000-4-11		
2. 形 状			
2－1. 形状及び材料・色彩	添付商品仕様図による		
2－2. 質量 （重量）	3,600g		
3. 機能			
3－1. ネットワーク接続	ツイストペアポート：RJ45コネクタ24ポート（※1） 伝送方式 : IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX 伝送速度 : 10ノ100Mbps 全ノ半二重 適合ケーブル : ツイスト・ペア・ケーブル （EIAノTIA568カテゴリ－5相当以上） 最大伝送距離 : 100m オートネゴシエーション機能：通信速度・全半二重を自動認識 設定により10Mbps、100Mbpsおよび全二重、半二重を固定可能 各ポートに最大15.4Wの給電が可能 ツイストペアポート：RJ45コネクタ2ポート 伝送方式 : IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T 伝送速度 : 10ノ100ノ1000Mbps 全ノ半二重 適合ケーブル : ツイスト・ペア・ケーブル （EIAノTIA568カテゴリ－5E相当以上） 最大伝送距離 : 100m オートネゴシエーション機能：通信速度・全半二重を自動認識 設定により10Mbps、100Mbpsおよび全二重、半二重を固定可能 SFP拡張ポート：2ポート ※上記1000BASE-T対応ツイストペアポートとの選択利用 オプション：SFP－1000SX SFPモジュール（PN54021） SFP－1000LX SFPモジュール（PN54023） SFP－LX40 SFPモジュール（PN54025） （※1）MNOシリーズ 省電力モード搭載により、ポート接続を自動検知し、電力消費を必要量に抑制。		
3－2. ターミナル エミュレータ接続	コンソール・ポート：RJ45コネクタ 1ポート 通信方式：RS－232C（ITU－TS V.24）準拠 エミュレーションモード：VT100 通信条件：9600bps、8bit、ノンパリティ、ストップビット 1		
作成日	平成 24年 1月 1日	e－ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部	
改定日			

品名	Switch－M24DCPWR	商品仕様書	401－23249D－SP01																								
品番	PN23249D		全9 No.2																								
<table><tr><td>3－3。LED表示</td><td colspan="3">(1) 電源 LED (PWR) 緑点灯：電源ON (2) 自己診断LED (STATUS) 緑点灯：システム正常稼働 橙点灯：システム起動中 橙点滅：システム障害 (3) ポートLED PoE (1～24ポート) 緑点灯：電源供給中 橙点滅：Overload時 消灯：電源未供給 または 端末未接続 LINK/ACT. (1～24ポート) 緑点灯：100Mbpsでリンクが確立 橙点灯：10Mbpsでリンクが確立 緑点滅：100Mbpsでパケット送受信中 橙点滅：10Mbpsでパケット送受信中 消灯：端末未接続 GIGA (25～26ポート) 緑点灯：1Gbpsでリンクが確立 消灯：100Mbps、10Mbpsでリンクが確立 または 端末未接続 100 (25～26ポート) 緑点灯：100Mbpsでリンクが確立 消灯：1Gbps、10Mbpsでリンクが確立 または 端末未接続 LINK/ACT. (25～26ポート) 緑点灯：リンクが確立 緑点滅：パケット送受信中 消灯：端末未接続</td></tr><tr><td>3－4。カスケード接続</td><td colspan="3">ポート1～26がAuto MDI/MDI-Xに対応 (固定設定可能) 通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。 工場出荷時は、ポート1～24はMDI-Xになります。</td></tr><tr><td>3－5。再起動</td><td colspan="3">ソフトウェアから以下の3つのモードでリセット可能 (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻すリセット (3) IPアドレス以外を工場出荷時に戻すリセット いずれもリブートタイマー機能によりタイマー制御可能</td></tr><tr><td>3－6。エージェント仕様</td><td colspan="3">管理用プロトコル：SNMP V1/V2 (RFC1157) TELNET (RFC854) HTTP (RFC2616) ソフトウェア・ダウンロード用プロトコル：TFTP (RFC783) 装備するMIB：MIB II (RFC1213) SNMPv2-MIB (RFC1907) IP-FORWARDING-MIB (RFC2096) RMON-MIB (RFC1757) (グループ1, 2, 3, 9) BRIDGE-MIB (RFC1493) P-BRIDGE-MIB (RFC2674) Q-BRIDGE-MIB (RFC2674) IF-MIB (RFC2863) RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB (RFC2618) POWER-ETHERNET-MIB (RFC3621) IEEE 802.1X MIB IEEE 802.3ad MIB RSTP-MIB</td></tr><tr><td>3－7。設定</td><td colspan="3">以下の方法によって管理用パラメータの設定が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2) Telnet接続した遠隔端末からの設定 (3) SSH接続した遠隔端末からの設定 (4) Webによる遠隔端末からの設定</td></tr><tr><td>3－8。スイッチの管理</td><td colspan="3">以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2) TelnetとTCP/IPネットワーク接続を使用した遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理 (4) Webによる管理 以下の機能によってスイッチ動作状況の確認が可能 (1) ファンセンサ機能 (2) 内部温度センサ機能 (3) CPU使用率・メモリ使用量表示機能</td></tr></table>				3－3。LED表示	(1) 電源 LED (PWR) 緑点灯：電源ON (2) 自己診断LED (STATUS) 緑点灯：システム正常稼働 橙点灯：システム起動中 橙点滅：システム障害 (3) ポートLED PoE (1～24ポート) 緑点灯：電源供給中 橙点滅：Overload時 消灯：電源未供給 または 端末未接続 LINK/ACT. (1～24ポート) 緑点灯：100Mbpsでリンクが確立 橙点灯：10Mbpsでリンクが確立 緑点滅：100Mbpsでパケット送受信中 橙点滅：10Mbpsでパケット送受信中 消灯：端末未接続 GIGA (25～26ポート) 緑点灯：1Gbpsでリンクが確立 消灯：100Mbps、10Mbpsでリンクが確立 または 端末未接続 100 (25～26ポート) 緑点灯：100Mbpsでリンクが確立 消灯：1Gbps、10Mbpsでリンクが確立 または 端末未接続 LINK/ACT. (25～26ポート) 緑点灯：リンクが確立 緑点滅：パケット送受信中 消灯：端末未接続			3－4。カスケード接続	ポート1～26がAuto MDI/MDI-Xに対応 (固定設定可能) 通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。 工場出荷時は、ポート1～24はMDI-Xになります。			3－5。再起動	ソフトウェアから以下の3つのモードでリセット可能 (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻すリセット (3) IPアドレス以外を工場出荷時に戻すリセット いずれもリブートタイマー機能によりタイマー制御可能			3－6。エージェント仕様	管理用プロトコル：SNMP V1/V2 (RFC1157) TELNET (RFC854) HTTP (RFC2616) ソフトウェア・ダウンロード用プロトコル：TFTP (RFC783) 装備するMIB：MIB II (RFC1213) SNMPv2-MIB (RFC1907) IP-FORWARDING-MIB (RFC2096) RMON-MIB (RFC1757) (グループ1, 2, 3, 9) BRIDGE-MIB (RFC1493) P-BRIDGE-MIB (RFC2674) Q-BRIDGE-MIB (RFC2674) IF-MIB (RFC2863) RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB (RFC2618) POWER-ETHERNET-MIB (RFC3621) IEEE 802.1X MIB IEEE 802.3ad MIB RSTP-MIB			3－7。設定	以下の方法によって管理用パラメータの設定が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2) Telnet接続した遠隔端末からの設定 (3) SSH接続した遠隔端末からの設定 (4) Webによる遠隔端末からの設定			3－8。スイッチの管理	以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2) TelnetとTCP/IPネットワーク接続を使用した遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理 (4) Webによる管理 以下の機能によってスイッチ動作状況の確認が可能 (1) ファンセンサ機能 (2) 内部温度センサ機能 (3) CPU使用率・メモリ使用量表示機能		
3－3。LED表示	(1) 電源 LED (PWR) 緑点灯：電源ON (2) 自己診断LED (STATUS) 緑点灯：システム正常稼働 橙点灯：システム起動中 橙点滅：システム障害 (3) ポートLED PoE (1～24ポート) 緑点灯：電源供給中 橙点滅：Overload時 消灯：電源未供給 または 端末未接続 LINK/ACT. (1～24ポート) 緑点灯：100Mbpsでリンクが確立 橙点灯：10Mbpsでリンクが確立 緑点滅：100Mbpsでパケット送受信中 橙点滅：10Mbpsでパケット送受信中 消灯：端末未接続 GIGA (25～26ポート) 緑点灯：1Gbpsでリンクが確立 消灯：100Mbps、10Mbpsでリンクが確立 または 端末未接続 100 (25～26ポート) 緑点灯：100Mbpsでリンクが確立 消灯：1Gbps、10Mbpsでリンクが確立 または 端末未接続 LINK/ACT. (25～26ポート) 緑点灯：リンクが確立 緑点滅：パケット送受信中 消灯：端末未接続																										
3－4。カスケード接続	ポート1～26がAuto MDI/MDI-Xに対応 (固定設定可能) 通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。 工場出荷時は、ポート1～24はMDI-Xになります。																										
3－5。再起動	ソフトウェアから以下の3つのモードでリセット可能 (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻すリセット (3) IPアドレス以外を工場出荷時に戻すリセット いずれもリブートタイマー機能によりタイマー制御可能																										
3－6。エージェント仕様	管理用プロトコル：SNMP V1/V2 (RFC1157) TELNET (RFC854) HTTP (RFC2616) ソフトウェア・ダウンロード用プロトコル：TFTP (RFC783) 装備するMIB：MIB II (RFC1213) SNMPv2-MIB (RFC1907) IP-FORWARDING-MIB (RFC2096) RMON-MIB (RFC1757) (グループ1, 2, 3, 9) BRIDGE-MIB (RFC1493) P-BRIDGE-MIB (RFC2674) Q-BRIDGE-MIB (RFC2674) IF-MIB (RFC2863) RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB (RFC2618) POWER-ETHERNET-MIB (RFC3621) IEEE 802.1X MIB IEEE 802.3ad MIB RSTP-MIB																										
3－7。設定	以下の方法によって管理用パラメータの設定が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2) Telnet接続した遠隔端末からの設定 (3) SSH接続した遠隔端末からの設定 (4) Webによる遠隔端末からの設定																										
3－8。スイッチの管理	以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2) TelnetとTCP/IPネットワーク接続を使用した遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理 (4) Webによる管理 以下の機能によってスイッチ動作状況の確認が可能 (1) ファンセンサ機能 (2) 内部温度センサ機能 (3) CPU使用率・メモリ使用量表示機能																										
作成日	平成 24年 1月 1日	e－ネットワークソリューション事業本部																									
改定日		ネットワーク商品事業部																									

品名	Switch-M24DCPWR	商品仕様書	401-23249D-SP01		
品番	PN23249D		全9 No.3		
<table><tr><td>3-9. その他</td><td>Syslog クライアント (Syslogサーバへのシステムログ送信) TFTP クライアント (ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込) ログインRADIUS (RADIUSサーバによるログイン認証機能)</td></tr></table>				3-9. その他	Syslog クライアント (Syslogサーバへのシステムログ送信) TFTP クライアント (ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込) ログインRADIUS (RADIUSサーバによるログイン認証機能)
3-9. その他	Syslog クライアント (Syslogサーバへのシステムログ送信) TFTP クライアント (ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込) ログインRADIUS (RADIUSサーバによるログイン認証機能)				
4. 搭載機能					
4-1. スイッチ機能	スイッチング方式 : ストア アンド フォワード スイッチング容量 : 14.8Gbps パケット転送能力 : 1,488,000pps/ポート (1000Mbps) : 148,800pps/ポート (100Mbps) : 14,880pps /ポート (10Mbps) MACアドレステーブル : 16Kエントリー/ユニット (ポート単位で自動学習の有効/無効が可能、固定登録が可能) バッファ : 1Mバイト フロー制御 : 半二重時 バックプレッシャー 全二重時 IEEE802.3X エージング : 300~600秒 (デフォルト値)				
4-2. スパニングツリー	IEEE802.1D スパニングツリープロトコル互換 IEEE802.1w ラピッドスパニングツリープロトコル準拠 IEEE802.1s マルチプルスパニングツリープロトコル準拠 BPDUガード機能サポート				
4-3. VLAN	IEEE802.1Q タグVLANプロトコル準拠 ポートベースVLAN VLAN登録数 256個 (デフォルトも含む) インターネットマニション機能サポート				
4-4. リンク アグリゲーション	IEEE802.3ad リンクアグリゲーション機能サポート 最大13グループ構成可能 (1グループ最大8ポート)				
4-5. QoS	IEEE802.1p 8段階の優先制御をサポート (以下のスケジューリング方式の選択が可能) (1) Priority Queueing (PQ: 絶対優先スケジューリング) (デフォルト設定) (2) Weighted Round-Robin (WRR: 重み付きラウンドロビンスケジューリング)				
4-6. ポートモニタリング	対象となるポートのトラフィックを指定したポートにコピーして送信可能 (複数の対象ポート指定が可能)				
4-7. マルチキャスト	IGMP Snoopingサポート IGMP Querier機能サポート マルチキャストフィルタリング機能サポート 対象となるポートのトラフィックを指定したポートにコピーして送信可能 (複数の対象ポート指定が可能)				
4-8. 認証機能サポート	IEEE802.1Xポートベース認証機能サポート IEEE802.1Xを用いたMACベース個別認証機能 IEEE802.1Xを用いたダイナミックVLAN機能 IEEE802.1Xを用いたゲストVLAN機能 登録MACアドレス強制認証機能 (EAP-MD5/TLS/PEAP認証方式) EAPフレーム透過機能 (ポート単位でEAPフレーム透過の有効/無効が可能)				
4-9. 給電機能	IEEE802.3af 給電機能サポート 1~24ポートに最大合計175W給電可能 (ポートへの最大給電能力15.4W) 給電方式 : Alternative B (空き線 4,5,7,8)				
4-10. アクセス コントロール	以下のパラメータでアクセス制御が可能 (1) IPアドレス (Source または Destination) (2) MACアドレス (Source または Destination) (3) TCP/UDPポート番号 (Source または Destination) (4) VLAN ID (5) 802.1p Priority (6) DSCP (7) Protocol (8) ICMPタイプ (9) TCP SYN Flag				
4-11. リングプロトコル	リング構成で冗長化が可能 (最大8グループの登録が可能)				
作成日	平成 24年 1月 1日	e ネットワークソリューション事業本部			
改定日		ネットワーク商品事業部			

品名	Switch-M24DCPWR	商品仕様書	401-23249D-SP01
品番	PN23249D		全9 No.5

5-3-2。トラフィックログ	・ポート別の過去24時間の10分ごとのトラフィックの状態を表示。 表示内容は 時刻 帯域使用率(%) 受信フレーム数 ブロードキャスト マルチキャスト コリジョン回数 エラー総数
5-4。グラフィック機能	
5-4-1。ポートステータス	・本体をグラフィック表示し、LEDの表示状態をリアルタイムで確認可能 ・更新間隔：20秒

6。コネクタピン配置

6-1。ポート1～24

状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8
MDI-X	信号	Rx+ Rx-	Tx+ Tx-	+V	+V	-V	-V		
MDI	信号	Tx+ Tx-	Rx+ Rx-	+V	+V	-V	-V		

ピンNo.

6-2。ポート25～26

状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8
MDI-X	信号	BI_DB+ BI_DB-	BI_DA+ BI_DA-	BI_DD+ BI_DD-	BI_DC+ BI_DC-				
MDI	信号	BI_DA+ BI_DA-	BI_DB+ BI_DB-	BI_DC+ BI_DC-	BI_DD+ BI_DD-				

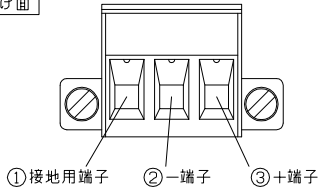
ピンNo.

6-3。コンソール・ポート

ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	TXD	5	NC
2	GND	6	NC
3	RXD	7	NC
4	GND	8	NC

ピンNo.

7。電源用端子台（付属品）

電源用端子台（付属品）			
※下図は電源ケーブル 取り付け面			
	DC-48V / DC48Vの接続方法		
	①	②	③
DC-48Vで使用される場合 (入力電圧範囲-53~-43V)	接地	-48V DC	0V DC
DC-48Vで使用される場合 (入力電圧範囲-53~-43V)	接地	0V DC	48V DC

作成日	平成 24年 1月 1日	e-ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部
改定日		

品名	Switch－M24DCPWR	商品仕様書	401－23249D－SP01
品番	PN23249D		全9 No.6
8。設置方法・付属品			
8－1。設置方法	(1) 19インチラックへの取り付け		
8－2。付属品	(1) 施工説明書 : 1冊 (2) 取扱説明書 : 1冊 (3) CD－ROM : 1枚 (4) 取付金具(19インチラックマウント用) : 2個 (5) ねじ(19インチラックマウント用) : 4本 (6) ねじ(取付金具と本体接続用) : 8本 (7) ゴム足 : 4個 (8) 電源用端子台 : 1個 (9) 絶縁テープ : 3枚 ※電源ケーブル、接地用ケーブルは別途ご用意ください。		
9。別売品			
9－1。コンソールケーブル (品番: PN72001)	(1) RJ45－Dsusb9ピンコンソールケーブル : 1本		
9－2。SFP－1000SX (品番: PN54021)	光ファイバ・ポート: LCコネクタ(2芯) 伝送方式 : IEEE802.3z 1000BASE-SX 伝送速度 : 1000Mbps 全二重 適合ケーブル : 光ファイバケーブル 50/125μm マルチモードファイバ 62.5/125μm マルチモードファイバ 最大伝送距離 : 50/125μm の場合550m 62.5/125μm の場合220m		
9－3。SFP－1000LX (品番: PN54023)	光ファイバ・ポート: LCコネクタ(2芯) 伝送方式 : IEEE802.3z 1000BASE-LX 伝送速度 : 1000Mbps 全二重 適合ケーブル : 光ファイバケーブル 10/125μm シングルモードファイバ 最大伝送距離 : 10Km		
9－4。SFP－LX40 (品番: PN54025) (※1)	光ファイバ・ポート: LCコネクタ(2芯) 伝送速度 : 1000Mbps 全二重 適合ケーブル : 光ファイバケーブル 10/125μm シングルモードファイバ 最大伝送距離 : 40Km (※2) (※1) LX40を対向でご使用ください(通信速度1000Mbps) (※2) 光許容損失が－19dB以下でご使用ください		
作成日	平成 24年 1月 1日	e－ネットワークソリューション事業本部	
改定日		ネットワーク商品事業部	

品名	Switch－M24DCPWR	商品仕様書	401－23249D－SP01
品番	PN23249D		全9 No.7
10。安全確保のための施工および使用上の禁止事項 下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。 本商品のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。 (1) 電源ケーブルの接続および配線、装置の設置および交換は、教育を受けた資格を有する技術者以外は行わない。 (2) 本製品付属の「M24DCPWR 施工説明書」に従って施工する (3) 入力電圧範囲DC－53～－43V（DC43～53V）以外では使用しない 取り扱いを誤ると、火災、感電、故障、誤作動の原因になります。 (4) 適用ケーブル以外は絶対に使用しない 誤って使用すると、発熱して焼損や火災の原因になります。 (5) はんだ付けした心線は使用しない 火災、感電の原因になります。 (6) 通電中、電源用端子台（付属品）には触れない 感電、故障の原因になります。 (7) 電源設備ブレーカをONにしたまま、電源用端子台（付属品）の取り付け・取り外しをしない 火災、感電、故障、誤作動の原因になります。 必ず電源設備ブレーカをOFFにしてから作業を行ってください。 (8) 水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない (9) 開口部やツイストペアポート、コンソールポート、SFP拡張スロットから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、 落とし込んだりしない 火災、感電、故障の原因になります。 (10) 直射日光の当たるところや温度の高いところに設置しない 内部の温度が上がり、火災の原因になります。 (11) ぬれた手で電源端子台（付属品）を抜き差ししない (12) 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない 感電、故障の原因になります。 (13) この装置を分解・改造しない 火災、感電、故障の原因になります。 (14) 電源ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない 電源ケーブルが破損し、火災、感電の原因になります。 (15) ツイストペアポートに10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T以外の機器を接続しない 火災、感電、故障の原因になります。 (16) SFP拡張スロットに別売のSFPモジュール（SFP－1000SX / SFP－1000LX / SFP－LX40）以外を実装しない 火災、感電、故障の原因になります。 (17) コンソールポートに別売のコンソールケーブルPN72001 RJ45－DSUB9ピンコンソールケーブル以外を接続しない 火災、感電、故障の原因になります。 (18) この装置を火に入れない 爆発、火災の原因になります。 (19) 電源用端子台（付属品）を必ず使用する (20) ケーブル被覆は7mm以上むかない (21) 心線が露出ないように接続する 絶縁テープ（付属品）を貼付せずに使用すると感電の原因になります。 (22) 必ず接地用ケーブルを接続したあとに電源ケーブルを接続する (23) 誤接続していないか確認する 接続を誤ると短絡や過電流で使用不可になります。 また火災、感電、誤作動の原因になります。 (24) 電源ケーブルを電源用端子台にゆるみがないよう、確実に接続する 感電や誤動作の原因となります。 (25) 電源用端子台を電源ケーブル接続端子にゆるみがないよう、確実に接続する 感電や誤動作の原因となります。			
作成日	平成 24年 1月 1日	e－ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部	
改定日			

品名	Switch－M24DCPWR	商品仕様書	401－23249D－SP01
品番	PN23249D		全9 No.8
(26) 以下を確認した場合、すぐに電源設備ブレーカをOFFにする 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります ・電源LEDが点灯しない ・本製品から異臭がする ・本製品から煙が出ている ・本製品内部に異物や水が入った ・自己診断LED (STATUS) が橙点滅している (27) ツイストペアポート、SFP拡張スロット、コンソールポート、電源ケーブル掛けブロックで手などを切らないよう注意の上取り扱う			
1 1。施工上の注意事項			
(1) 本製品付属の「M24DCPWR 施工説明書」に従って施工してください (2) 電源ケーブルとLANケーブルを並行配線する場合には、お互いを10cm以上離して配線してください。 (3) 接続を誤ると短絡や過電流で使用不可能になります (4) ケーブル被膜は7mm以上むかないでください (5) 曲がった心線はまっすぐに伸ばしてから接続してください (6) 心線の近くを持ってまっすぐに接続してください (7) 接地用ケーブルは本製品を設置する場所の接地条件に従って配線してください (8) 接続したケーブルを引っ張ったり、ねじったりすると心線を傷つけます (9) ねじは締めすぎないでください。ケーブルが切れたり、ねじ部分が故障する原因になります (10) 電源ケーブル、接地用ケーブルは別途ご用意ください (11) Cu単線 (Φ0.5 ～ 2.0 mm) を使用してください (12) Φ2.0 mm以上のケーブルを使用する場合は、中継端子台を別途ご用意ください			
1 2。使用上の注意事項			
(1) 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください (2) この装置を設置・移動する際は、教育を受けた資格を有する技術者が行ってください 移動させる場合は、全てのケーブルを外してください。 (3) この装置を清掃する際は、教育を受けた資格を有する技術者が行ってください その際、電源設備ブレーカーをOFFにしてください。 (4) RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子、SFP拡張スロット内部の金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。 静電気により故障の原因になります。 (5) コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。 静電気により故障の原因となります。 (6) 落下など強い衝撃を与えないでください 故障の原因になります。 (7) コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。 (8) 以下場所での保管・使用はしないでください (仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください) ・水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所 ・ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所 (カーペットの上など) ・直射日光が当たる場所 ・結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所 ・振動・衝撃が強い場所 (9) 周囲の温度が0～40℃の場所でお使いください 上記条件を満たさない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となり、保証致しかねますのでご注意ください。 また、この装置の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因になります。 (10) 装置同士を積み重ねる場合は、上下の機器との間隔を20mm以上空けてお使いください			
作成日	平成 24年 1月 1日	e－ネットワークソリューション事業本部	
改定日		ネットワーク商品事業部	

品名	Switch－M24DCPWR	商品仕様書	401－23249D－SP01
品番	PN23249D		全9 No.9
(11) SFP拡張スロットに別売のSFP拡張モジュール（SFP－1000SX／SFP－1000LX／SFP－LX40）以外を実装した場合、動作保証はいたしませんのでご注意ください (12) 仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください 13。品質保証について 本商品の品質管理には最大の注力をいたしますが、 (1) 万一、本商品の品質不良が原因となり、人命並びに財産に多大の影響が予測される場合には、本仕様書記載の特性・数値に対し余裕を持たれ、かつ二重回路等の安全対策を組み込んでいただくことを、製造物責任の観点からお勧めします。 (2) 本商品の品質保証期間はお買上げ日より1年間とし、本仕様書に記載された項目とその範囲内とさせていただきます。 本商品に弊社の責による瑕疵が明らかになった場合には、誠意をもって代替品の提供、または瑕疵部分の交換、修理を本商品の納入場所で速やかに行わせていただきます。 但し、次の場合はこの保証の対象から除かせていただきます。 1) 本商品の故障や瑕疵から誘発された他の損害の場合。 2) お買上げ後の取扱い、保管、運搬（輸送）において、本仕様書記載以外の条件が本商品に加わった場合。 3) お買上げ時までに実用化されている技術では予見することが不可能であった現象に起因する場合。 4) 火災、地震、洪水、火災、紛争など弊社に責のない自然あるいは人為的な災害による場合。 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 お客様の取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本商品の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、その責任は負いかねますのでご了承ください。 (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷 (ロ) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷 (ニ) 保証書の提示がない場合 (ホ) 保証書にお買上げ日、お客様名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合 パナソニックの正規代理店 株式会社ガリレオ お問い合わせ・ご質問等はこちらへ TEL：042-639-0510 HP：https://galileo-1.co.jp/contact.html			
作成日	平成 24年 1月 1日	e－ネットワークソリューション事業本部 ネットワーク商品事業部	
改定日			